

みんなで学ぼう



身近な病気とケガの手当て

～夏から秋に流行る子どもの感染症編～

【代表的なもの】

- ① 手足口病
- ② ヘルパンギーナ
- ③ 咽頭結膜炎(プール熱)
- ④ 流行性角結膜炎(はやり目)



① 手足口病

原因ウイルス……………エンテロウイルス

症状…水疱のある湿疹が手のひら、足のうら、お尻、ひざ、口の中などにできる。
微熱が出る場合もある。比較的元気なことが多い。

治療…対症療法が中心。しかし、かかってから1ヶ月ほどは便中にウイルスがいることがあるので、手洗いをまめに行う。

② ヘルパンギーナ

(ほとんどが4歳以下で1歳代が最も多い)

原因ウイルス……………コクサッキーウイルス

症状…上あごの奥に周囲が赤くなった1～数mmの小さな水疱がみられる。
発熱も伴う。2～3日で熱は下がり1週間ほどで自然に治る。

治療…対症療法。脱水にならないよう、こまめに水分を与える。

③咽頭結膜熱(プール熱)

(1～5歳の幼児がかかりやすいが成人でも発症することがある。)

原因ウイルス……………アデノウイルス

症状…突然の発熱で発症し、高熱が3～5日ほど続く。喉の痛み、目の充血目やにもみられる。

治療…対症療法。脱水にならないよう、こまめに水分を与える。

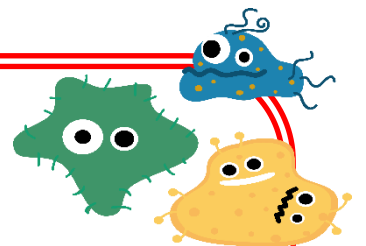
④流行性角結膜炎(はやり目)

原因ウイルス……………アデノウイルス(主に8型、19型、37型)

症状…感染力が強い。目の痛みや痒み、結膜のむくみや充血、まぶたのむくみが強く、それに伴い涙や目やにが出てくる。目に違和感が出たり、耳の前のリンパ節が腫れたりすることもある。

治療…2～3週間ほどで自然に治るが、二次感染予防に抗菌薬の点眼薬を使用する。炎症が角膜に広がったり、にごりが見られたりする場合はステロイド点眼薬を使用したりする。

今年もRSウイルス感染症も流行っています！



原因ウイルス……………RSウイルスによるもの

症状…潜伏期間は約4日間。鼻汁、鼻づまりなどから始まり2～3日後に咳き込みの症状が現れる。乳幼児などでは喘息のような咳き込み、呼吸困難、発熱を伴う。

生後6ヶ月未満の乳児が感染した場合、細菌気管支炎や肺炎など重症化する確率が高くなる。

治療…抗ウイルス薬は存在しない。水分と栄養をとりながら鼻水をこまめに吸引して回復を待つ。

情報提供

休日夜間診療所 栗原鮎美 看護師

